

令和4年度 第1回 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議次第

日時 令和4年11月8日（水）午後1時30分～
場所 桶川市役所 5F 全員協議会室

1 開 会 2 あいさつ 3 概要説明

（1）桶川市の現状及び総合戦略と人口ビジョンの概要について・・・資料1～5

4 議 題

（1）成果指標の達成状況について・・・資料6～7-2

（2）次期総合戦略の策定について・・・資料8

5 そ の 他

（1）桶川市第六次総合計画基本構想（素案）概要について・・・資料9

6 閉 会

〈配付資料〉

資料1・・・桶川市の現状について

資料2・・・桶川市の人口について

資料3・・・総合戦略の概要

資料4・・・年齢別人口動向等（過去10か年平均）

資料5・・・国の地方創生と桶川市の主な取組

資料6・・・成果指標の推移一覧

資料7－1, 2・・・令和3年度、令和4年度の主な取組一覧

資料8・・・次期総合戦略の策定に向けたスケジュール

資料9・・・桶川市第六次総合計画基本構想（素案）概要

補足資料1・・・桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿

補足資料2・・・桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱

補足資料3・・・転入・転出アンケート集計結果

1. 立地の状況

- ①都心から40 k m圏に位置しています。
- ②良好な住宅都市の様相を呈しています。
- ③各地区（6地区）に特性があります。

図 1：桶川市の位置図



図 2：地区区分図



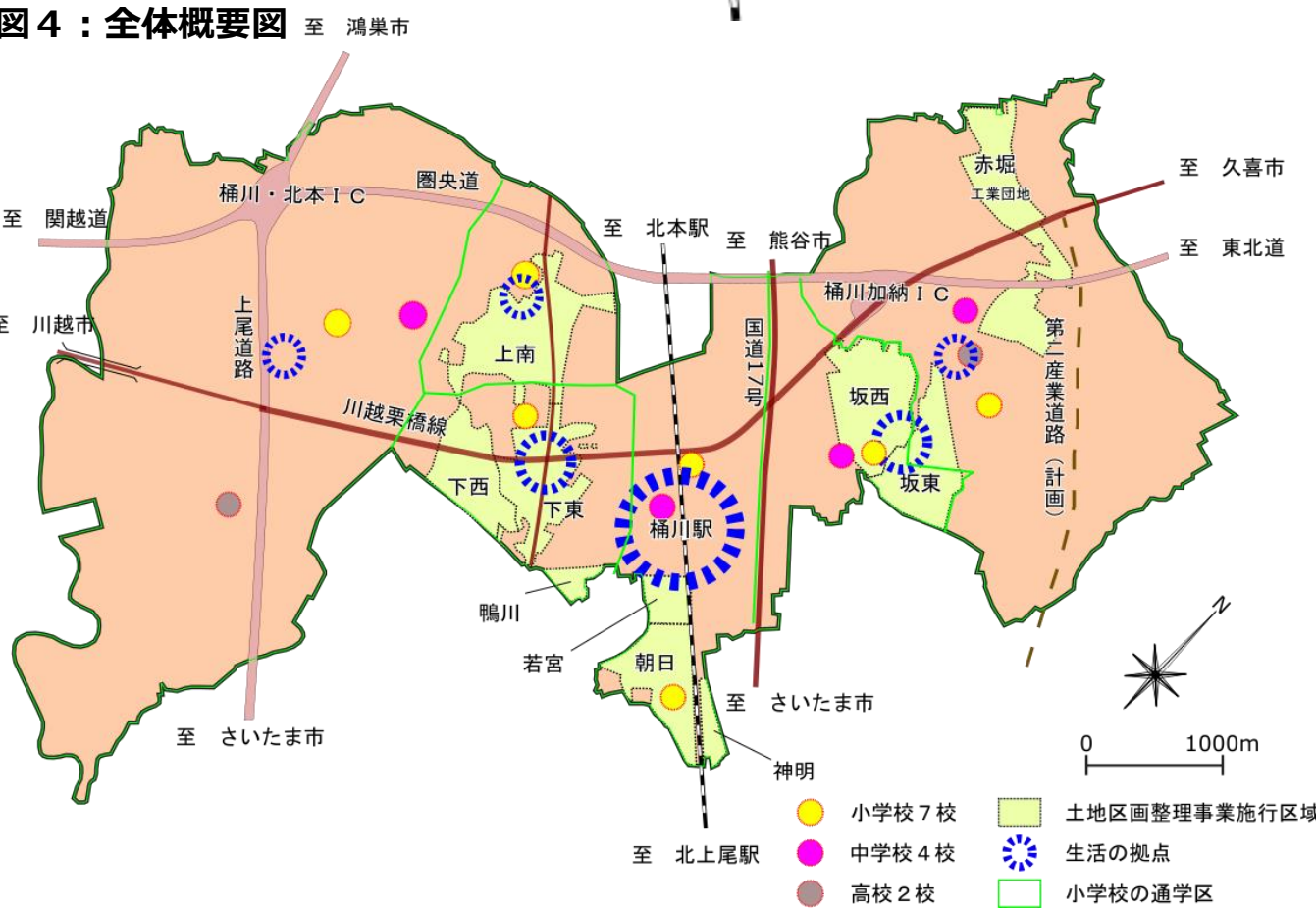
2. まち並みの特徴

- ①市街化区域は、中心市街地と新市街地から構成されています。
- ②中心市街地は、主に昭和35年からの急速な人口増加に伴い形成された住宅地となっています。一方、新市街地は主に近年の土地区画整理事業により形成された住宅地となっています。
- ③市街化調整区域は、豊かな自然と住宅が共存しています。

図 3：中心市街地と新市街地



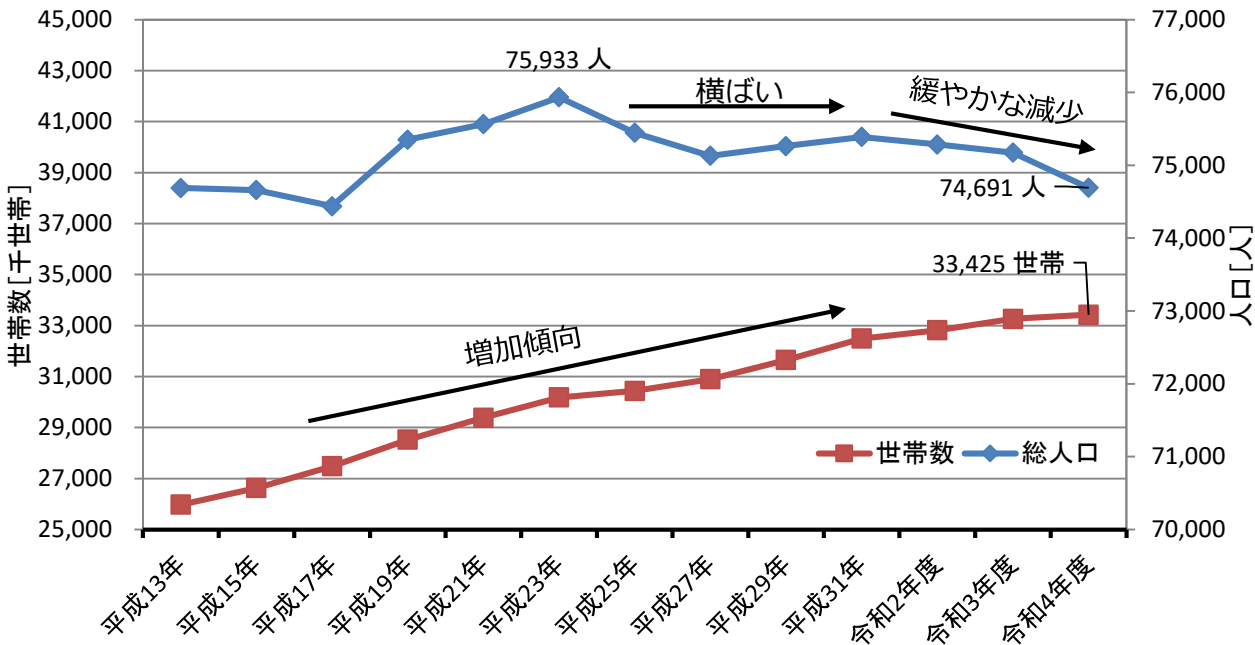
図 4：全体概要図



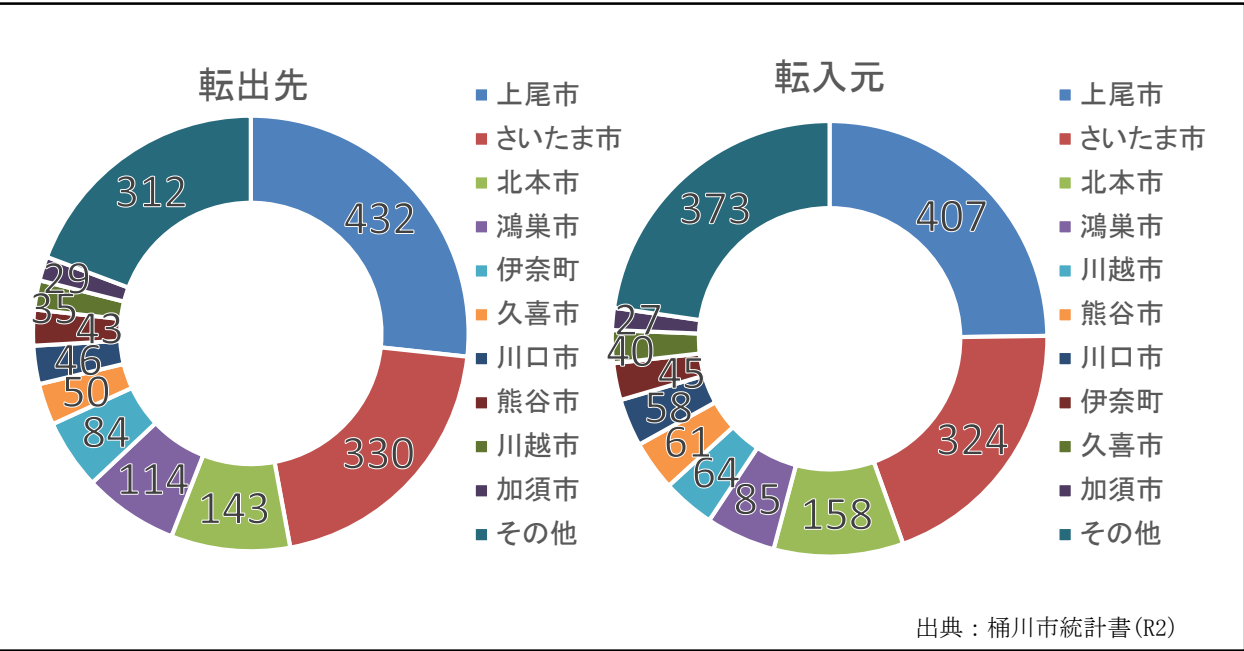
1. 桶川市の人口推移

- ▶ 本市の人口は昭和35年より急激に増加し、ここ数年は概ね横ばいで推移していましたが、近年緩やかな減少傾向にあり、令和4年4月1日時点で74,691人となっています。一方、世帯数は年々増加を続けており、同時点で33,425世帯となっています。【図1】
- ▶ 転出、転入状況は、ともに上尾市、さいたま市、北本市が上位になっており、近隣市での 移動が多くなっています。【図2】

【図1】 人口・世帯数の推移



【図2】 桶川市の転入、転出状況（県内）



2. 地区別の人口増減

- ▶ 平成27年と令和4年の同時点での人口を比較すると、土地区画整理事業を実施した坂田地区、日出谷地区は増加しています。
- ▶ 土地区画整理事業による新たな宅地供給により、人口が増加しているものと推察されます。【表1】

【表1】 地区別人口

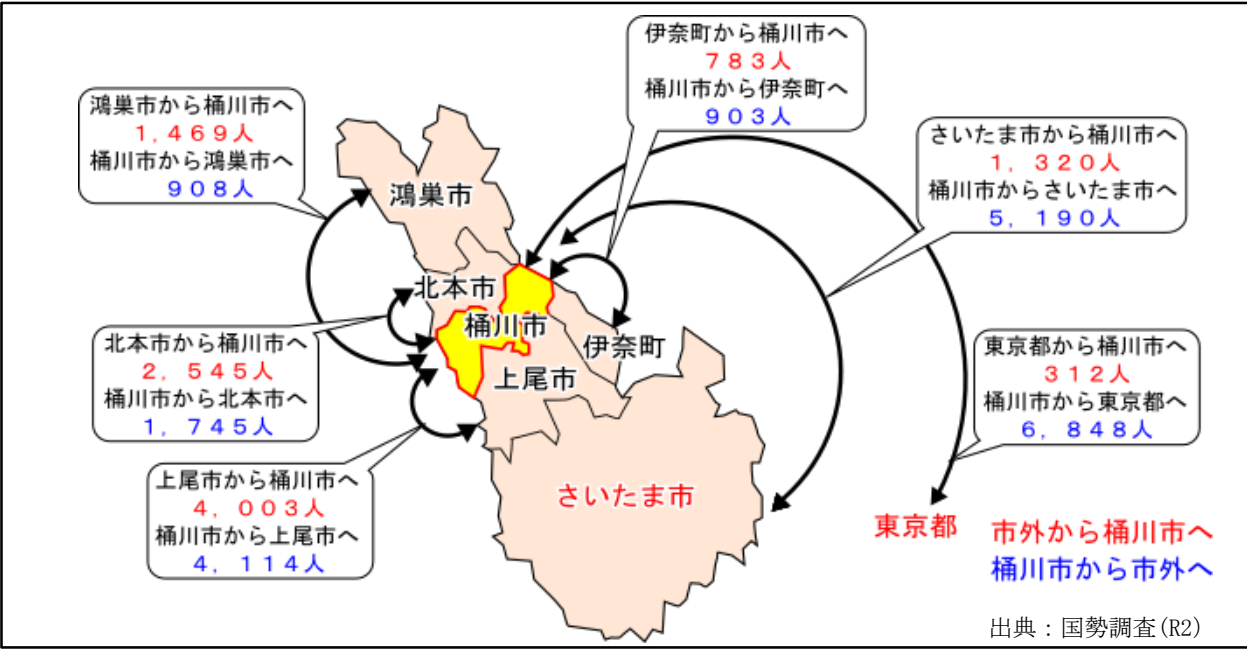
項 目	人口		増減 (R4-H27)
	H27.4.1	R4.4.1	
駅 東 側 周 辺	12, 605	12, 432	-173
駅 西 側 周 辺	16, 416	16, 014	-402
坂 田 地 区	15, 260	15, 976	716
日 出 谷 地 区	16, 815	17, 361	546
加 納 地 区	7, 294	6, 909	-385
川 田 谷 地 区	6, 740	5, 999	-741
合 計	75, 130	74, 691	-439

出典 桶川市住民基本台帳人口

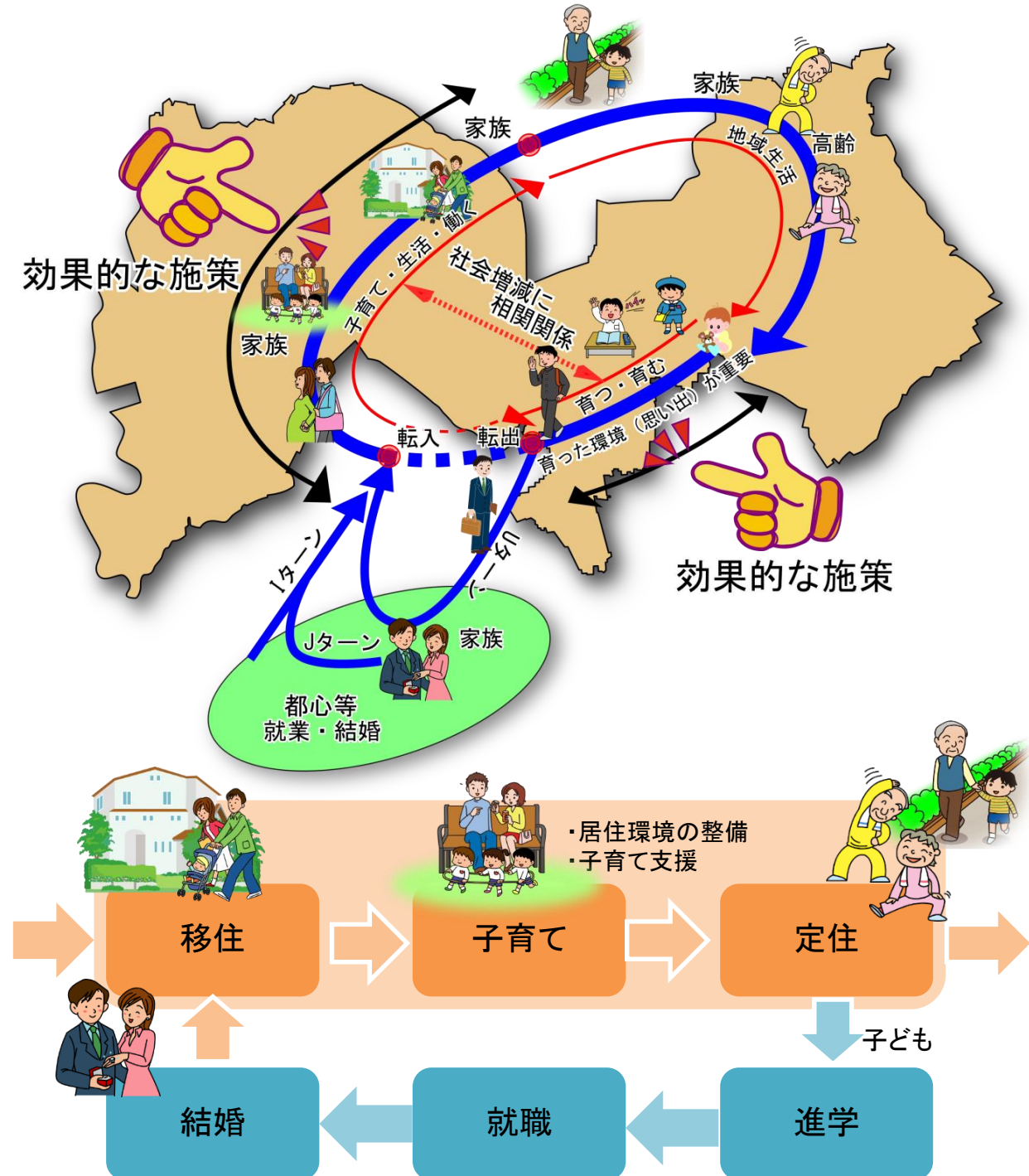
3. 通勤・通学先について

- ▶ 市民の通勤・通学先は、東京都内・さいたま市・上尾市の順となっており、雇用等を都心（政令市）に依存している状況にあります。
- ▶ 一方で、桶川市へ通勤・通学している方は、上尾市・北本市・鴻巣市の順となっており、近隣自治体からの流入が多い状況にあります。【図3】

【図3】 通勤・通学先の状況

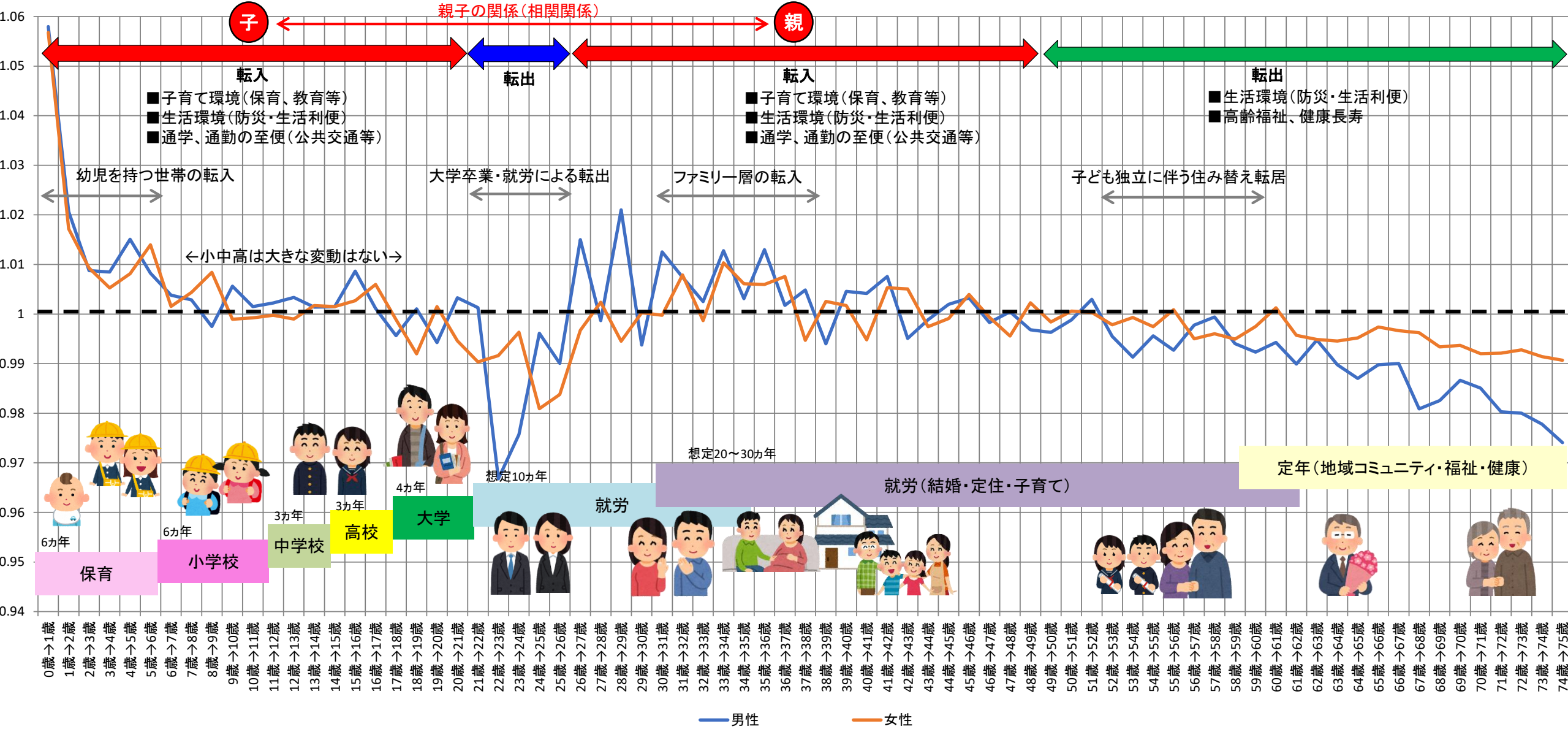


2. 桶川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果的な推進



- 平成27年度から令和4年度までの8か年の計画。（令和4年3月改定）
※次期総合戦略策定まで現計画の計画期間を延長
- 人口ビジョンに掲げる将来目標人口を設定。
- 将来目標人口の実現に必要な方針と施策を策定。
- 施策の展開にあたり「進行管理と効果検証」P D C Aの徹底。

総合戦略の計画期間（７か年）における目標人口（短期）	
２０２３年（令和５年１月１日）	７４，０００人以上
２０１６年（平成２８年１月１日）	７５，０７１人
人口ビジョンに掲げる将来目標人口（長期）	
２０４０年（令和２２年）	６４，０００人以上
２０６０年（令和４２年）	５６，０００人以上



◆ 1歳毎年齢別人口増減

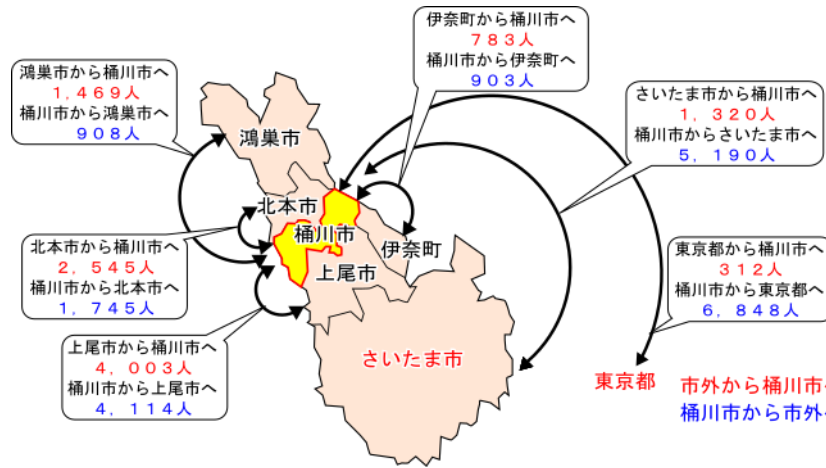
- ・縦軸は、増減率を示す。1は人口増減が0の状態。1より高い場合は増加、1より低い場合は減少となる。
- ・子育て世代（子どもと親）は増加傾向にある一方、就労時（22→23歳）から数年間は減少が顕著となる。
- ・都心から通勤・通学の便が良く、土地区画整理事業（坂田地区・日出谷地区）により良好な都市基盤が形成されていることから子育て世代が転入超過の傾向にある。子育て世代にとって、ライフステージ（子育て、教育、就労など）を描きやすいことが増加の要因と考えられる。

◆ 地区別の人口増減

項目	人口		増減 (R4-H27)
	H27.4.1	R4.4.1	
駅東側周辺	12,605	12,432	-173
駅西側周辺	16,416	16,014	-402
坂田地区	15,260	15,976	716
日出谷地区	16,815	17,361	546
加納地区	7,294	6,909	-385
川田谷地区	6,740	5,999	-741
合計	75,130	74,691	-439

出典 桶川市住民基本台帳人口

◆ 通勤・通学先の状況

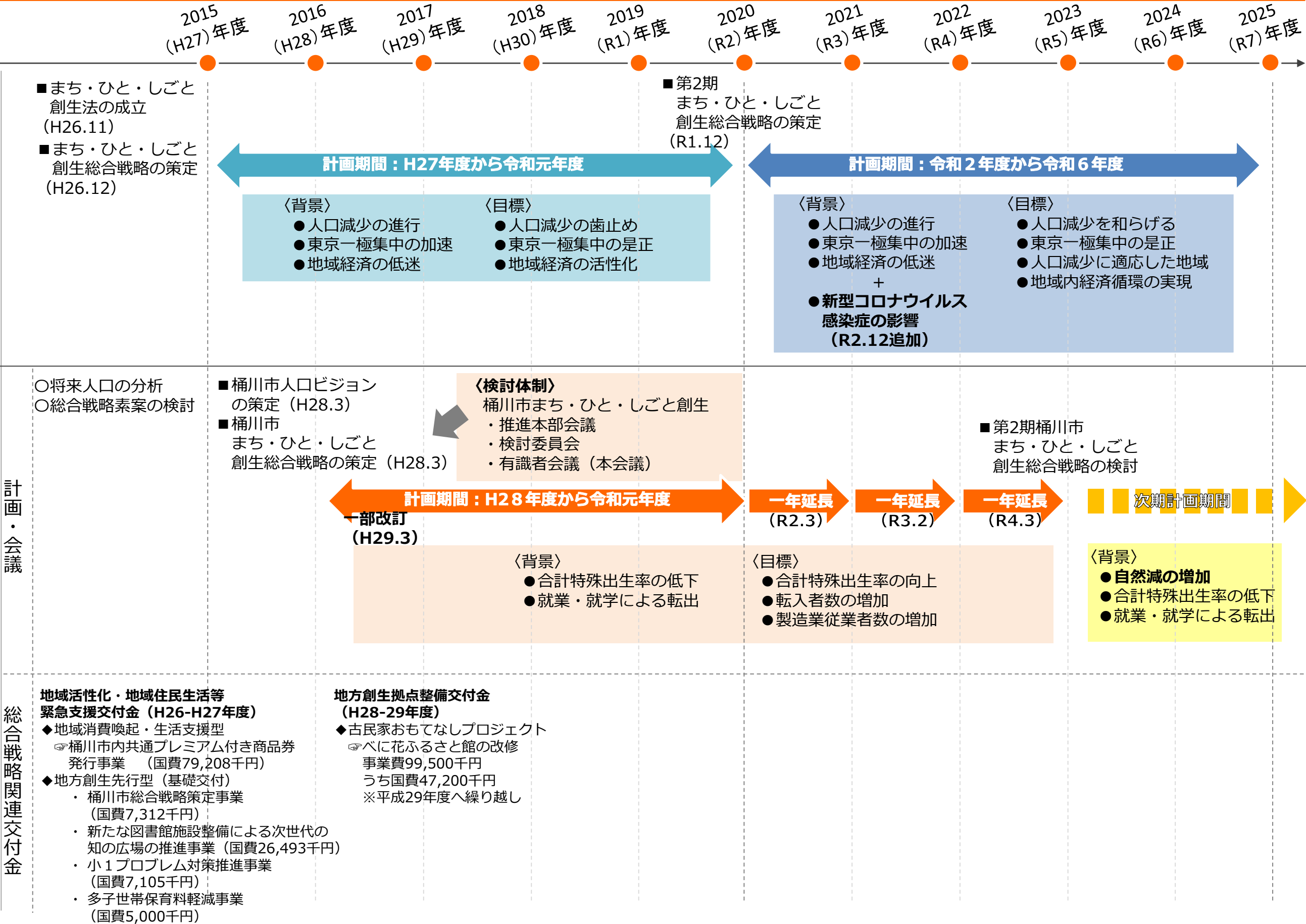


出典：国勢調査(R2)

国の主な取組

市の主な取組

総合戦略関連交付金



● 基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1) 成果指標(KPI)

	指標	現状値	H27成果	H28成果	H29成果	H30成果	R1成果	R2成果	R3成果	直近比較	目標値(R4)
①	合計特殊出生率	1.23 (H22～H26平均)	1.25	1.20	1.31	1.18	1.19	1.19※1		→	1.35

(2) 施策の効果を図る指標(KPI)

	指標	現状値	H27成果	H28成果	H29成果	H30成果	R1成果	R2成果	R3成果	直近比較	目標値(R4)
②	女性の初婚年齢	30.1歳 (H25)	29.4歳	29.1歳	30.0歳	29.0歳	29.4	30.5	30.0	↑	28.3歳
③	4年前の2～4歳人口における 4年後の6～8歳人口の割合	1.01 (H27/H23)	—	—	—	—	1.05 ※2 (R1/H27)	1.06 ※2 (R2/H28)	1.04 ※2 (R3/H29)	↓	1.03 (H4/H30)
④	子どもを産み、育てやすいと 感じる市民の割合	—	—	—	54.5%	—	67.6% ※3	—	—	↑	50%
⑤	住み続けたいと思う若者の 割合(18～29歳)	59.1% (H26)	—	—	63.5%	—	82.8% ※3	—	—	↑	65%

※1 : 令和2年埼玉県保健統計年報による

※2 : 年齢別人口集計表による(各年1月1日時点)

※3 : 市民アンケート調査結果による(令和元年12月実施)

● 基本目標2 新しいひとの流れをつくる

(1) 成果指標(KPI)

	指標	現状値	H27成果	H28成果	H29成果	H30成果	R1成果	R2成果	R3成果	直近比較	目標値(R4)
⑥	転入者数	2,589人 (H26)	2,648人	2,897人	2,677人	2,991人	3,051人	2,842人	2,788人	↓	2,600人

(2) 施策の効果を図る指標(KPI)

	指標	現状値	H27成果	H28成果	H29成果	H30成果	R1成果	R2成果	R3成果	直近比較	目標値(R4)
⑦	土地区画整理事業施行 地区の使用収益開始率	82.3% (H26)	92.0%	92.8%	96.8%	98.0%	99.7%	100.0%	—	→	98.5%
⑧	坂田地区の生活拠点形成、坂田東西 保留地における公共施設等の整備	計画検討 (H27)	計画検討	事業着手	設計業務	公共施設 等の建設	開館	—	—	→	公共施設 等の建設
⑨	住みよいと感じる市民の数	45% (H26)	—	—	47.8%	—	51.6%※1	—	—	↑	50%
⑩	駅利用者及び駅自由 通路往来者数	11,000人 (H26)	10,382人	10,318人	10,337人	10,164人	10,827人	—	—	↑	16,000人
⑪	駅西口図書館来館者数	—	373,269人	613,956人	660,030人	655,662人	604,581人	310,643人	380,236人	↑	500,000人
⑫	道の駅による拠点形成	計画検討 (H27)	計画検討	計画検討	計画検討	計画検討	計画検討	事業着手	事業者公募	↑	概成
⑬	べに花ふるさと館 来場者数	103,710人 (H27)		101,296人	70,072人※2	113,838人	74,906人	46,134人	54,963人	↑	135,000人
⑭	都市計画道路の整備率	57.6% (H26)	73.3%	73.3%	73.5%	74.2%	74.5%	75.0%	75.2%	↑	75%
⑮	桶川駅東口駅前広場及び 駅東口通り線の用地買収率	21% (H26)	21%	46%	49%	54%	72%	75%	78%	↑	100%
⑯	循環バス年間乗車数	289,200人 (H26)	280,427人	272,872人	277,275人	278,341人	279,880人	142,405人	144,239人	↑	300,000人

※1 : 市民アンケート調査結果による(令和元年12月実施)

※2 : 改修工事に伴い平成29年4月～10月の実績

● 基本目標3 安定した雇用を創出する

(1) 成果指標(KPI)

	指標	現状値	H27成果	H28成果	H29成果	H30成果	R1成果	R2成果	R3成果	直近比較	目標値(R4)
⑰	製造業従業者数	4,115人 (H25)	4,049人	4,158人	3,893人	3,902人	3,999人	3,854人	12月末公表予定	↓	4,300人

(2) 施策の効果を図る指標(KPI)

	指標	現状値	H27成果	H28成果	H29成果	H30成果	R1成果	R2成果	R3成果	直近比較	目標値(R4)
⑱	誘致企業の立地件数	0件 (H27)	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件	→	2件
⑲	製造品出荷額等	1,169億円 (H25)	1,153億円	1,219億円	1,241億円	1,309億円	1,278億円	1,240億円	12月末公表予定	↓	1,220億円
⑳	製造業事業所数	91ヶ所 (H25)	92ヶ所	101ヶ所	85ヶ所	80ヶ所	74ヶ所	69ヶ所	12月末公表予定	↓	95ヶ所

● 将来目標人口(KGI)の達成状況

平成28年1月1日 (現状値 平成27年度)	平成29年1月1日 (平成28年度)	平成30年1月1日 (平成29年度)	平成31年1月1日 (平成30年度)	令和2年1月1日 (令和元年度)	令和3年1月1日 (令和2年度)	令和4年1月1日 (令和3年度)	直近比較	令和5年1月1日 (目標値 令和4年度)
75,071人 世帯数 31,036	75,266人 世帯数 31,517	75,234人 世帯数 31,851	75,408人 世帯数 32,344	75,359人 世帯数 32,728	75,202人 世帯数 33,144	74,822人 世帯数 33,334	↓	74,000人

令和３年度の主な取組一覧

基本目標１：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標２：新しいひとの流れをつくる

基本目標３：安定した雇用を創出する

No	総合戦略に位置付けている取組	主 要 事 業		
		新規	事業名	担当課
1	1-1-2 子どもの健全な育成環境の充実 1-2-8 学校施設の老朽化対策の実施	○	学校プール民間委託事業	学校支援課
2	1-1-2 子どもの健全な育成環境の充実		コミュニティ・スクール事業	学務課
3	1-1-6 医療費等助成事業の充実		小児インフルエンザ予防接種助成事業	健康増進課
4	1-2-1 相談支援体制の充実		スマイル相談員の配置	学校支援課
5	1-2-6 ICTを活用した教育機会の提供	○	I C T 支援員の配置	学校支援課
6	2-1-1 防災機能（体制等）及び施設の充実	○	災害時等情報伝達システム導入事業	安心安全課
7	2-1-1 防災機能（体制等）及び施設の充実	○	農業センター耐震改修事業	農政課
8	2-1-3 土地区画整理事業の推進		上日出谷南２号調整池整備事業	道路河川課
9	2-1-6 生活道路や公共下水道などインフラの整備	○	道路照明灯LED化事業	安心安全課
10	2-1-6 生活道路や公共下水道などインフラの整備		歩行者等安全対策事業（ゾーン３０）	安心安全課
11	2-1-6 生活道路や公共下水道などインフラの整備	○	未就学児安全対策事業	道路河川課
12	2-2-3 道の駅や旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場跡地整備による拠点形成		道の駅推進事業	道の駅整備課
13	2-3-2 桶川駅東口駅前広場等の整備推進によるターミナル機能の確立		駅東口整備事業	駅東口整備推進課

令和4年度の主な取組一覧

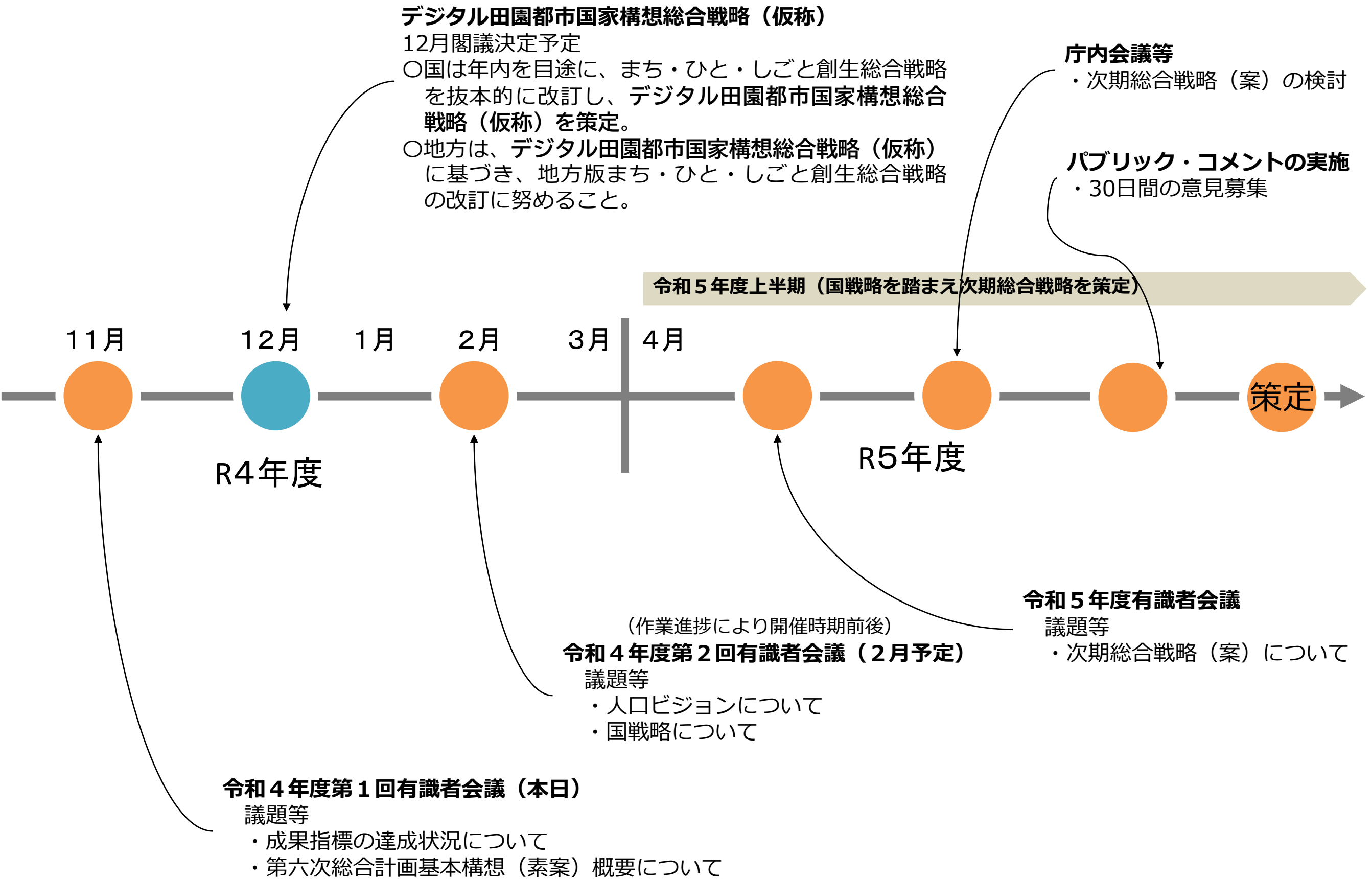
基本目標1：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 基本目標2：新しいひとの流れをつくる
 基本目標3：安定した雇用を創出する

No	総合戦略に位置付けている取組	主 要 事 業		
		新規	事業名	担当課
1	1-1-2 子どもの健全な育成環境の充実	○	いずみの学園整備事業	児童発達支援センターいずみの学園
2	1-1-2 子どもの健全な育成環境の充実 2-1-1 防災機能（体制等）及び施設の充実	○	体育館空調設備整備事業	教育総務課
3	1-1-2 子どもの健全な育成環境の充実 1-2-8 学校施設の老朽化対策の実施		学校プール民間委託事業	学校支援課
4	1-1-2 子どもの健全な育成環境の充実 1-2-6 ICTを活用した教育機会の提供	○	オンライン通信費助成事業	学務課
5	1-1-4 子育て支援機能及び施設の充実	○	要保護児童訪問支援事業	子ども未来課
6	1-1-6 医療費等助成事業の充実	○	予防接種事業 （子宮頸がん・帯状疱疹ワクチン）	健康増進課
7	1-1-6 医療費等助成事業の充実	○	母子保健事業 （産婦健診・産後ケア）	健康増進課
8	1-2-4 地域の歴史や伝統文化についての情報発信と学習機会の提供	○	川田谷生涯学習センター大規模改修事業	歴史民俗資料館
9	2-1-1 防災機能（体制等）及び施設の充実	○	地域防災計画策定事業	安心安全課
10	2-1-2 防犯機能（体制等）及び設備の充実 2-1-6 生活道路や公共下水道などインフラの整備	○	目沢排水路治水対策事業	道路河川課
11	2-1-2 防犯機能（体制等）及び設備の充実		河川浚渫推進事業	道路河川課
12	2-1-3 土地区画整理事業の推進		上日出谷南2号調整池整備事業	道路河川課

令和４年度の主な取組一覧

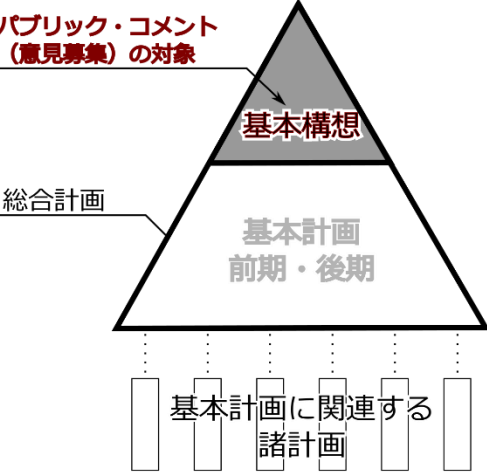
基本目標１：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 基本目標２：新しいひとの流れをつくる
 基本目標３：安定した雇用を創出する

No	総合戦略に位置付けている取組	主 要 事 業		
		新規	事業名	担当課
13	2-1-6 生活道路や公共下水道などインフラの整備	○	通学路安全対策事業	安心安全課 道路河川課
14	2-1-6 生活道路や公共下水道などインフラの整備		道路照明灯ＬＥＤ化事業	安心安全課
15	2-1-6 生活道路や公共下水道などインフラの整備	○	愛宕東線整備事業	市街地整備課
16	2-2-3 道の駅や旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場跡地整備による拠点形成		道の駅推進事業	道の駅整備課
17	2-2-3 道の駅や旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場跡地整備による拠点形成	○	平和祈念館映像コンテンツ発信事業	桶川飛行学校平和祈 念館
18	2-3-2 桶川駅東口駅前広場等の整備推進によるターミナル機能の確立		駅東口整備事業	駅東口整備推進課



●計画の体系と期間

第六次総合計画の体系と期間は、図のとおりです。



基本構想〈期間：10年間 令和5年度から令和14年度まで〉
基本構想は、長期的な視点から市の基本理念や将来像、まちづくりの方向性などを示すものです。

基本計画〈期間：各5年間〉
前期 令和5年度から令和9年度まで
後期 令和10年度から令和14年度まで
基本計画は、基本構想に基づき政策分野毎に現状と課題を明らかにし、必要な施策を総合的、体系的に定めたものです。

基本計画に関連する諸計画
基本計画に関連する諸計画は、総合計画に基づき、策定される様々な施策や事業に関する計画です。

●基本構想案の内容

基本理念

本市のまちづくりにおける基本姿勢となります。



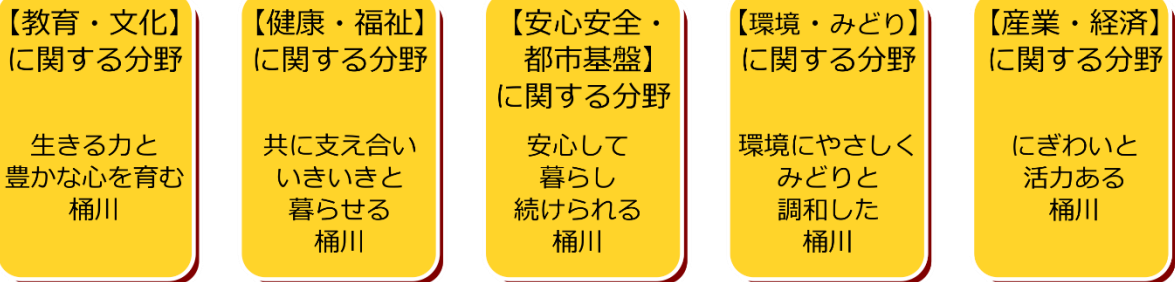
将来像

将来に向け、目指すまちの姿です。



まちづくりの方向性

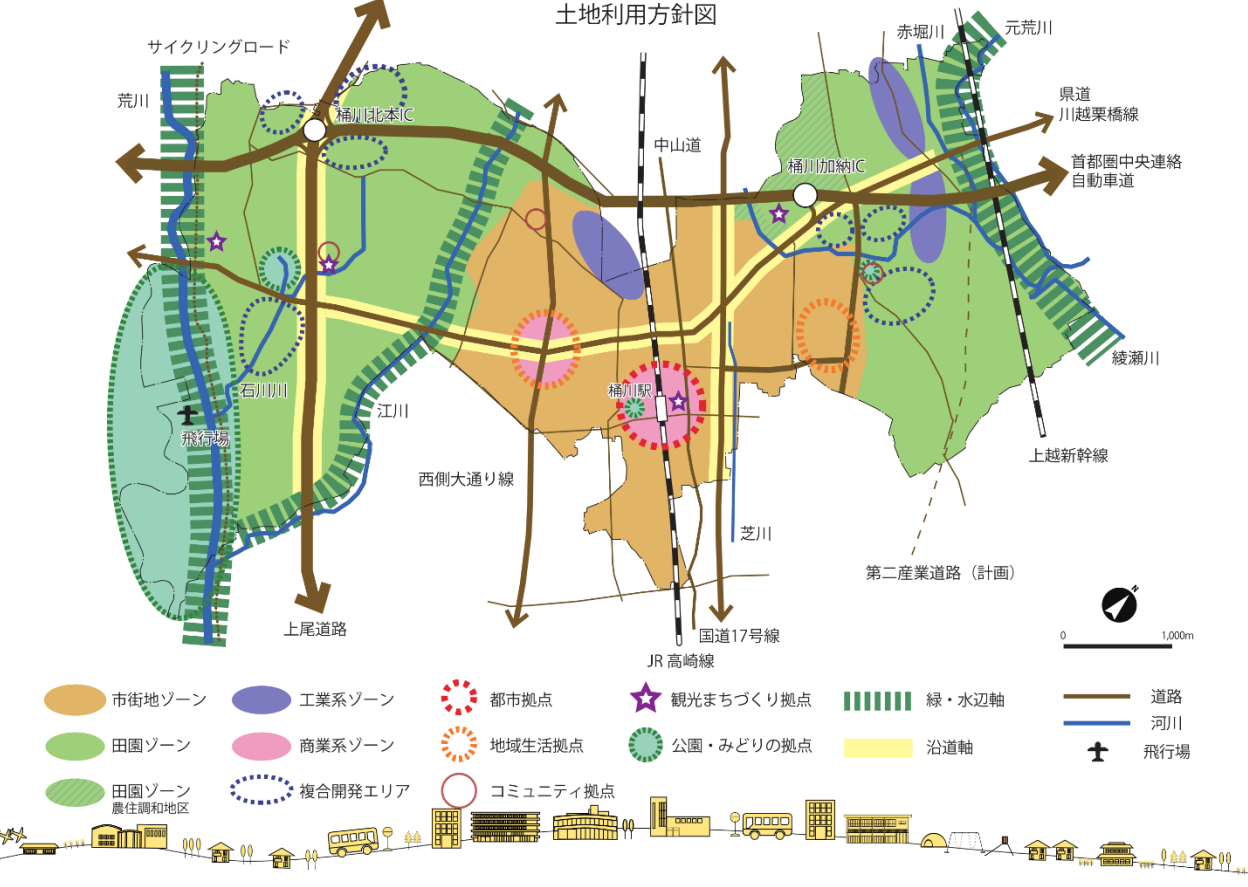
次の政策により、将来像の実現を目指します。



土地利用の基本方針

本市は、東京都心から40 k m圏に位置し、比較的、通勤・通学の利便性もよいことから、今日まで住宅都市として発展してきました。近年では、首都圏中央連絡自動車道や上尾道路など、広域幹線道路の整備が進み、長年、推進してきた土地区画整理事業による都市基盤整備も完了期を迎えています。その一方、荒川など河川沿いに広がる貴重な緑をはじめ、農地や屋敷林など、今なお、豊かな自然環境が残されています。このような、地域特性を踏まえ、調和のとれた計画的なまちづくりを推進するため、土地利用の基本方針を次のとおりとします。

- ① 歩いて暮らせるまちづくり
- ② 広域交通網をいかすまちづくり
- ③ 自然と暮らしが調和するまちづくり



桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議 委員名簿

No	氏 名	備 考
1	岩 崎 隆 志	桶川市議会
2	新 島 光 明	桶川市議会
3	岡 安 政 彦	桶川市議会
4	柳 田 千 明	桶川市PTA連合会
5	関 口 瑞 代	桶川市私立幼稚園協会
6	田 中 二 三 子	桶川市商工会女性部
7	伊 藤 元	桶川市商工会青年部
8	磯 田 輝 昭	桶川市校長会
9	吉 田 耕 造	公益社団法人 桶川市シルバー人材センター
10	竹 中 健 司	埼玉県県央地域振興センター
11	町 田 哲 夫	元二松學舎大学教授
12	西 出 達 郎	株式会社 埼玉りそな銀行 桶川支店
13	森 本 淳 志	株式会社日本政策金融公庫さいたま支店
14	勇 有 花 子	株式会社 埼玉新聞社

【補足資料 2】

桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱

(平成 27 年 7 月 13 日市長決裁)

(設置)

第 1 条 まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく桶川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の策定及び推進に当たり、総合的かつ専門的な見地から有識者の意見を聴取するため、桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議（以下「会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 会議において意見等を求める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 桶川市人口ビジョン及び総合戦略の策定等に関すること。
- (2) 総合戦略の企画、推進及び効果検証に関すること。
- (3) その他総合戦略の推進に必要な事項に関すること。

(構成)

第 3 条 会議は、専門的な知識経験を有する学識経験者及び有識者のなかから選定した委員 15 人以内で組織し、市長が委嘱する。

(任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(座長)

第 5 条 会議に座長を置き、委員の互選により定める。

2 座長に事故あるとき、又は欠けたときは、あらかじめ座長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第 6 条 会議は、座長が招集し、その議長となる。

2 座長は、必要があると認めるときは、会議に第 3 条に規定する委員以

外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(庶務)

第7条 会議の庶務は、企画財政部企画調整課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。

附 則

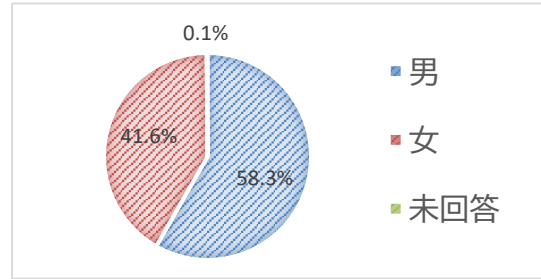
この要綱は、決裁の日から施行する。

附 則（平成28年4月1日市長決裁）

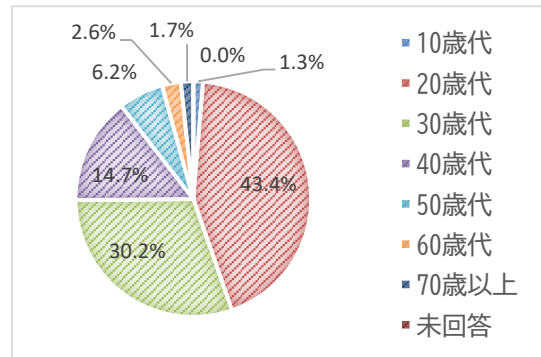
この要綱は、決裁の日から施行する。

転入アンケート単純集計報告（H28.3～累計）

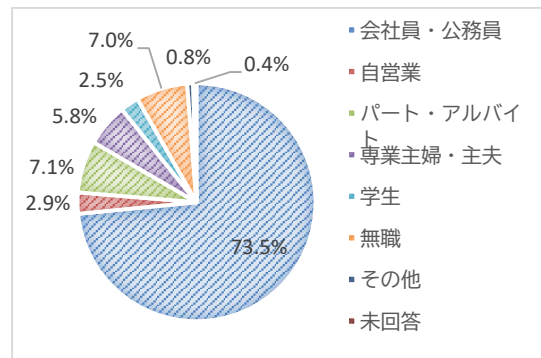
有効回答数	1356 人
性別	
男	790 人
女	564 人
未回答	2 人



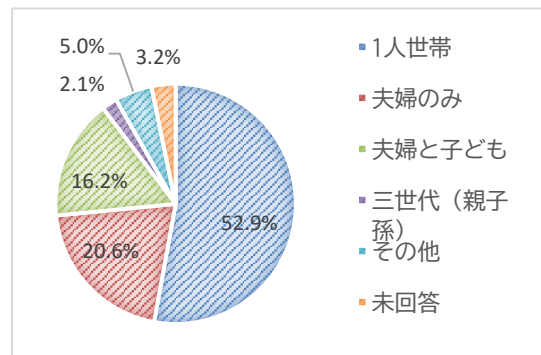
年齢	
10歳代	18 人
20歳代	588 人
30歳代	409 人
40歳代	199 人
50歳代	84 人
60歳代	35 人
70歳以上	23 人
未回答	0 人



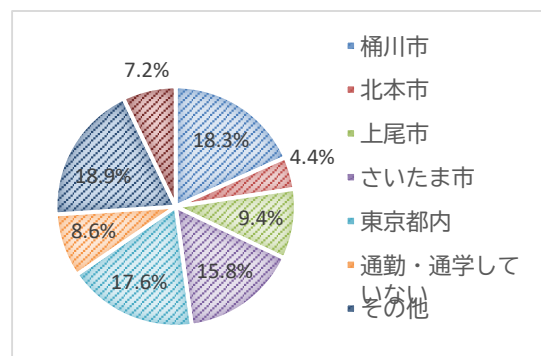
職業	
会社員・公務員	996 人
自営業	39 人
パート・アルバイト	96 人
専業主婦・主夫	79 人
学生	34 人
無職	95 人
その他	11 人
未回答	6 人



家族構成	
1人世帯	717 人
夫婦のみ	279 人
夫婦と子ども	220 人
三世代（親子孫）	28 人
その他	68 人
未回答	44 人



通勤・勤務先	
桶川市	248 人
北本市	59 人
上尾市	128 人
さいたま市	214 人
東京都内	238 人
通勤・通学していない	116 人
その他	256 人
未回答	97 人



転入アンケート単純集計報告（H28.3～累計）

転入先

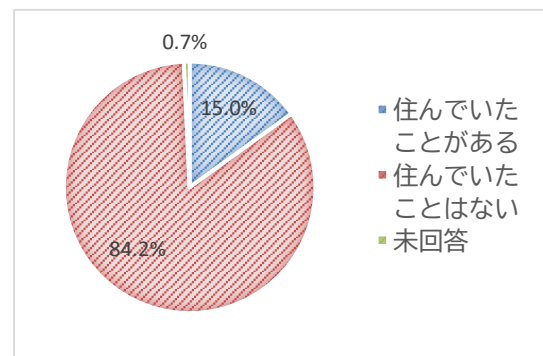
東	82 人
西	26 人
南	46 人
北	61 人
寿	67 人
神明	48 人
泉	84 人
若宮	129 人
鴨川	65 人
朝日	86 人
上日出谷	107 人
下日出谷	108 人
下日出谷西	19 人
末広	103 人
坂田	88 人
坂田東	40 人
加納	41 人
篠津	0 人
五丁台	0 人
舎人新田	1 人
小針領家	0 人
倉田	7 人
赤堀	0 人
川田谷	25 人
未回答	37 人

転入前住所

埼玉県さいたま市	160 人
埼玉県上尾市	137 人
埼玉県北本市	80 人
埼玉県鴻巣市	56 人
埼玉県伊奈町	18 人
埼玉県蓮田市	9 人
埼玉県川島町	11 人
埼玉県熊谷市	20 人
埼玉県久喜市	17 人
その他埼玉県	221 人
東京都	132 人
その他(県外・国外)	474 人
未回答	21 人

以前、桶川に住んでいたことがあるか

住んでいたことがある	204 人
住んでいたことはない	1142 人
未回答	10 人



転入アンケート単純集計報告（H28.3～累計）

転入きっかけ

就職・転職・転勤	529 人
退職	31 人
進学	17 人
結婚・離婚	197 人
出産	21 人
親の介護	10 人
自宅購入	184 人
親や子との同居・近居	53 人
親からの独立	70 人
その他	101 人
未回答	143 人

転入理由

子育て支援の充実	23 人
教育・文化的環境が良い	25 人
医療・福祉の充実	21 人
買い物など日常生活の利便性	203 人
鉄道・バスなど交通の利便性	245 人
手頃な住宅価格・家賃	406 人
親や子どもが近くに住んでいる	186 人
生まれ育ったまちで愛着がある	66 人
公園や自然環境の充実	76 人
道路・水道など都市基盤の整備	23 人
特になし	201 人
未回答	252 人
その他	248 人

要望

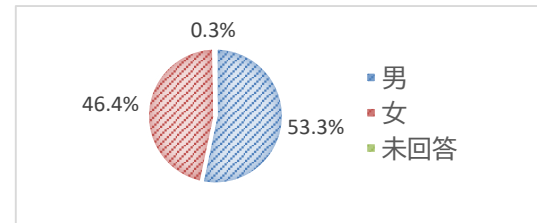
子育て支援の充実	382 人
教育・文化的環境の向上	204 人
医療・福祉の充実	414 人
買い物など日常生活の利便性	651 人
鉄道・バスなど交通の利便性	450 人
手頃な住宅価格・家賃	245 人
公園や自然環境の充実	265 人
道路・水道など都市基盤の整備	297 人
特になし	118 人
未回答	124 人
その他	106 人

転出アンケート単純集計報告（H28.3～累計）

有効回答数 683 人

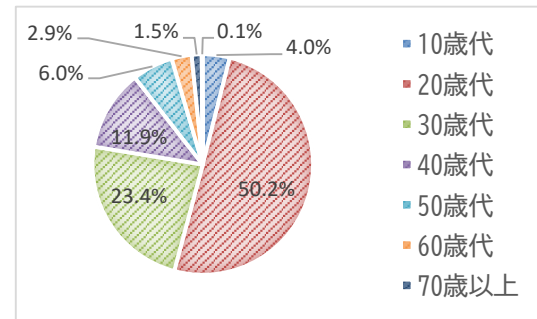
性別

男 364 人
女 317 人
未回答 2 人



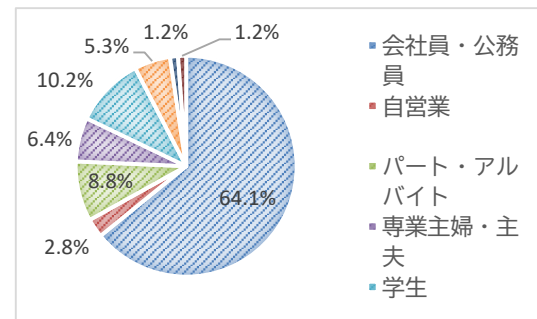
年齢

10歳代 27 人
20歳代 343 人
30歳代 160 人
40歳代 81 人
50歳代 41 人
60歳代 20 人
70歳以上 10 人
未回答 1 人



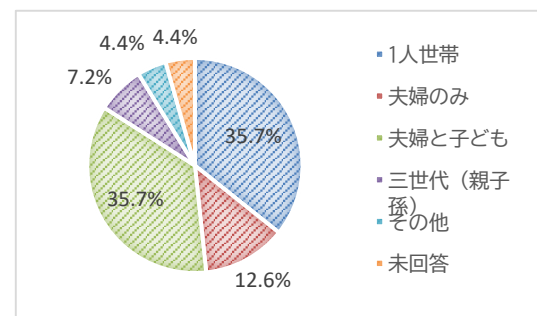
職業

会社員・公務員 438 人
自営業 19 人
パート・アルバイト 60 人
専業主婦・主夫 44 人
学生 70 人
無職 36 人
その他 8 人
未回答 8 人



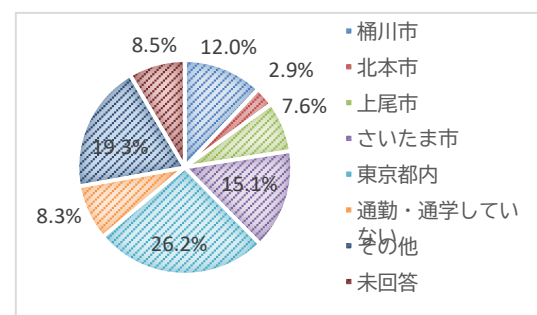
家族構成

1人世帯 244 人
夫婦のみ 86 人
夫婦と子ども 244 人
三世代(親子孫) 49 人
その他 30 人
未回答 30 人



通勤・勤務先

桶川市 82 人
北本市 20 人
上尾市 52 人
さいたま市 103 人
東京都内 179 人
通勤・通学していない 57 人
その他 132 人
未回答 58 人



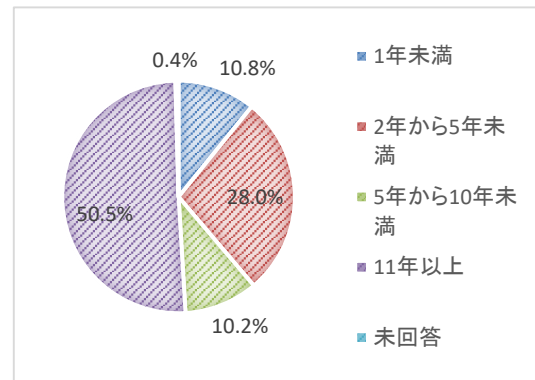
転出アンケート単純集計報告（H28.3～累計）

転出前

東	17 人
西	15 人
南	11 人
北	35 人
寿	31 人
神明	17 人
泉	44 人
若宮	47 人
鴨川	37 人
朝日	44 人
上日出谷	61 人
下日出谷	36 人
下日出谷西	17 人
末広	49 人
坂田	54 人
坂田東	16 人
加納	32 人
篠津	0 人
五丁台	2 人
舎人新田	2 人
小針領家	6 人
倉田	8 人
赤堀	0 人
川田谷	55 人
未回答	40 人

桶川に住んでいた期間

1年未満	74 人
2年から5年未満	191 人
5年から10年未満	70 人
11年以上	345 人
未回答	3 人



転出先住所

埼玉県さいたま市	88 人
埼玉県上尾市	75 人
埼玉県北本市	23 人
埼玉県鴻巣市	21 人
埼玉県伊奈町	11 人
埼玉県蓮田市	1 人
埼玉県川島町	1 人
埼玉県熊谷市	8 人
埼玉県久喜市	5 人
その他埼玉県	93 人
東京都	112 人
その他(県外・国外)	216 人
未回答	29 人

転出アンケート単純集計報告（H28.3～累計）

転出理由

就職・転職・転勤	283 人
退職	6 人
進学	19 人
結婚・離婚	129 人
出産	10 人
親の介護	6 人
自宅購入	50 人
親や子との同居・近居	30 人
親からの独立	40 人
その他	26 人
未回答	84 人

また住みたいか

住みたいと思う	354 人
住みたくない	33 人
わからない	237 人
未回答	59 人

もしまた住むとしたら、どのようなきっかけか

就職・転職・転勤	209 人
退職	43 人
進学	6 人
結婚・離婚	73 人
出産	34 人
親の介護	100 人
自宅購入	73 人
親や子との同居・近居	99 人
親からの独立	2 人
その他	29 人
未回答	176 人

暮らしやすかった点

子育て支援の充実	39 人
教育・文化的環境の向上	29 人
医療・福祉の充実	38 人
買い物など日常生活の利便性	256 人
鉄道・バスなど交通の利便性	167 人
手頃な住宅価格・家賃	119 人
親や子どもが近くに住んでいる	116 人
公園や自然環境の充実	160 人
道路・水道など都市基盤の整備	43 人
特になし	102 人
未回答	91 人
その他	22 人

暮らしにくかった点

子育て支援が充実していない	22 人
教育・文化的な環境が悪い	25 人
医療・福祉が充実していない	44 人
買い物などの日常生活が不便である	70 人
鉄道・バスなど交通の便が悪い	166 人
住宅価格・家賃が高い	24 人
親や子どもが近くに住んでいない	13 人
公園や自然環境が充実していない	43 人
道路などの都市基盤が整っていない	59 人
特になし	244 人
未回答	107 人
その他	41 人